**令和５年度　多摩市立多摩永山中学校　　授業改善推進プラン　　教科名**

数学

|  |  |
| --- | --- |
| **数学科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて** | |
| ア　知識及び技能 | イ　思考力、判断力、表現力等 |
| 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 | 数学を活用して、事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証（２月） |
| 第１学年 | ・基本的な計算力は多くの生徒が身についている。しかし、基本を活用した文章題は問題文の意味が読み取れないなどの課題がある。 | ・グループ学習で生徒同士の対話する機会を設定する。全体での学び合いでの多様な意見を統合的・発展的に考えさせる活動を充実させる。  ・振り返りシートを適切に評価し、そこでの指導・助  言を大切にし、言語活動を充実させていく。 | ・通年での授業 |  |
| 第２学年 | ・学力が身についている生徒と身についていない  生徒で二極化している。基本的な内容の概念の定着、文章題の内容の理解、複数の内容を組み合わせた問題の解決に課題がある。 | ・既習内容を確認しながら、新しい内容に取り組む。  ・基本的な内容の問題に取り組む演習時間を確保する。基本的な内容が身についていない生徒には個別指導をし、身についている生徒には応用課題に取り組ませ、応用力を身につける。  ・家での復習の推進。 | ・通年での授業 |  |
| 第３学年 | ・基本的な計算力、数学的な見方、考え方は身についている生徒が多い。しかし、それらの見方、考え方を活用して、応用的な問題を解決する能力に課題がある。 | ・１つの問題の解法が複数ある場合、複数の解法があることを伝え、初めに解いた解法以外のものを考える時間を確保する。また、その解法を解説する。  ・新しい単元を扱う際には、既習の単元とのつながりを意識させるような指導を行う。 | ・通年での授業 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について** | **■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学び**  **に向かう力」の育成に向けた取組について** |
| **【個別最適な学び】**  **デジタル教科書を利用して、授業でのユニバーサルデザイン化を実現する。**  **ICT機器を活用し、板書の量を減らし、机間指導に時間を充実させる。**  **【協働的な学び】**  **生徒のワークシートやノートを共有し、意見を深める活動を充実させる。** | **単元ごとに「単元の振り返りシート」を作成し、単元の見通しをもたせてい**  **る。単元終了後は単元を通してできるようになったこと、疑問に思ったこと、**  **生活に活かせることを考えさせ、学習の振り返りを行っている。** |